

未来のあなたの健康を守る！

成人歯科健診 + 歯科ドック



8020 達成者の多くの方々が、「食事が美味しく食べられ、それが健康維持につながっている」と話されています。また歯科口腔に関するアンケートで、多くの高齢者が「若い時に歯科健診を受けていれば良かった」と答えています。
健康長寿のための重要な要素である食事・睡眠・運動に、「歯科健診」を加えることをお勧めします。



川口市に住民登録されている
30歳以上の全ての方が
補助の対象です。

健診 + 歯科ドック費用 (受診者負担額)

30～64歳の方	3,240円
65歳以上の方	2,160円
節目健診者 (40・50・60・70歳の方)	2,160円

節目健診は、誕生日がこの年齢を迎える方で、川口市から通知が送られてきます。川口歯科医師会に入会していない歯科診療所では補助が適用されません

《健診のみ受診の場合》

(受診者負担額)

30～64歳の方	1,080円
65歳以上の方	620円
節目健診者 (40・50・60・70歳の方)	620円

健診は、あなたの悩み・質問からスタートします。

検査施設

川口歯科医師会会員の指定診療所

お問合せは、会員診療所一覧または右下のシールの診療所へ。

歯科ドックの 検査内容

ウ蝕活動検査(RDテスト)

だ液の中の細菌を採取・培養して、口腔内の衛生状態や、むし歯の進みやすさ、かかりやすさなどを調べます。

口腔内軟組織検査

歯肉や舌、頬粘膜などの軟組織の異常を調べます。口腔がんや腫瘍などの異常が発見される場合もあります。

だ液潜血検査

歯周病の進行による口腔内の出血や、歯周病原菌が歯肉に侵入して起きる炎症反応を調べます。

だ液量測定

だ液には、口の中を清潔にする働きがあります。だ液量が減少すると、むし歯や歯周病にかかりやすくなります。

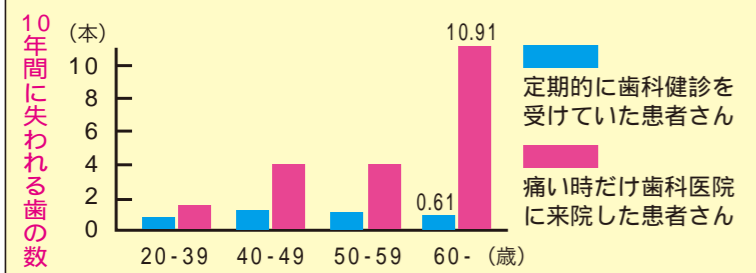
だ液緩衝能検査

緩衝能(酸を中和する力)が高ければ、口の中の酸を早く中和して、歯の再石灰化を促進させます。

40歳を過ぎると喪失歯数が増えてくる

歯ぐきに炎症がみられる人の割合は、30歳で80%以上といわれ、そのピークは45歳～54歳で88%を超えます。急速に歯が失われ始める40歳以降の方、できれば30歳を過ぎた方は、定期的に歯科健診を受診しましょう。

定期健診の有無による喪失歯数の差



新庄文明、鈴木尚、池田雅彦 ■成人、高齢者にたいする歯科臨床における歯周病予防指導の効果についての研究、喪失リスクに与える影響 老年歯科医学 3: 15-19, 1989より引用

《歯周病の進行》



子ども110番の 歯科医院



一般社団法人 川口歯科医師会
川口市教育委員会・川口警察署・武南警察署

健診

川口市 成人歯科健康診査

一般社団法人 川口歯科医師会

http://www.kawaguchi-shikaishikai.or.jp



スマイル smile

vol.15

発行日：平成26年5月12日 発行者：川口歯科医師会会長 中村 勝文
〒333-0845 川口市上青木西1-20-3 産業文化会館内 TEL 048-255-5665

川口市民の歯と健康を守る



一般社団法人
川口歯科医師会

http://www.kawaguchi-shikaishikai.or.jp



現代社会のストレスと口臭の関係

口臭を気にする人は、中高年に多く見られます。それは口臭の主な原因である、歯周病にかかっている、入れ歯を使っている、加齢などが原因で唾液分泌が少ない、舌に汚れが溜まっていることなどが挙げられます。

現代社会のストレスや緊張は、交感神経を刺激し唾液分泌を減少させます。唾液は、口の中をきれいにする働きがあるので、食事の時にはなるべく時間をかけて、よく噛んで食べましょう。そして歯を大切にしましょう。

口臭の予防には、歯科健診が大切です！

口臭はどんなにおい？

口臭のにおい物質は、口の中の細菌がタンパク質を分解して作る揮発性硫黄化合物のガスであることが解っています。

《揮発性硫黄化合物》

メチルメルカプタン(主に歯周病から発生)

血なまぐさい、魚や野菜が腐ったようなにおい

硫化水素(主に舌苔から発生)

卵が腐ったような匂い

硫化ジメチル(主に口腔乾燥、薬の副作用)

生ゴミのような匂い

臭覚は、一般的に女性の方が男性より優れていると言われています。しかし加齢とともに、嗅覚の感受度は低下します。



口臭の原因は？

《病的な口臭》

口腔疾患による口臭(90%以上)

- ・歯周病(出血やウミ、歯石)
- ・舌苔(代謝物や流動食の腐敗)
- ・唾液分泌の減少(口腔乾燥症など)
- ・歯や入れ歯の清掃不良

全身疾患による口臭

- ・耳鼻咽喉科系
- ・呼吸器系
- ・糖尿病や癌など

《生理的口臭》

- ・飲食物による口臭(ニラ・ネギ・ニンニク等)
- ・嗜好品による口臭(アルコール・タバコ等)

《仮性口臭》

口臭が無くても、周囲の人々の何気ない動作や行動で、口臭があると思い込むことを仮性口臭症と呼びます。

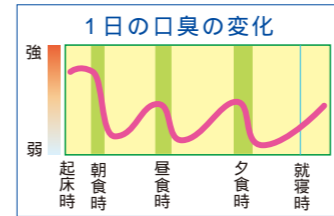
口臭は唾液が影響

口臭の強弱には、唾液の分泌が大きく影響しています。口臭は、朝の起床時や食事の前の空腹時に強くなります。またストレスにより唾液の分泌が少なくなり、口の中の汚れや食べカスなどが口臭発生を起こすこともあります。

唾液の分泌は、ストレスや緊張した「交感神経」の時にはネバネバした唾液が少量しか分泌されません。リラックスした「副交感神経」の時にはサラサラした唾液が大量に分泌され、口の中をきれいにします。しかし就寝時は分泌が少なくなります。

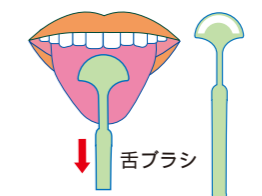
《唾液腺マッサージ》

唾液の分泌量は、加齢によって減少します。食事の前の唾液腺マッサージが効果的です。



口臭の予防法は？

正しい歯みがきと舌みがきで、お口を清潔にしましょう。むし歯や歯周病などの病気は、すぐに治療を受けましょう。口臭が気になる時は、うがいや歯みがきを試みましょう。

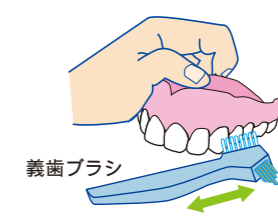


《舌苔の除去》

- 舌みがきは、
- ・起床直後に行う
- ・舌の奥の方も丁寧に磨く
- ・水に濡らしただけで使用する

《入れ歯の清掃》

入れ歯にも歯垢が付着します。就寝前には必ず磨きましょう。



《歯周病の改善》

《口腔乾燥症の改善》
かかりつけの歯科医院で治療しましょう！

